

# ようこそ 保津保育所へ



あんぜんあんしんキャラクター  
あんづちゃん



1

たいせつにしよう  
じょうぶなからだとやさしいこころ



- 1 概要(職員と園児数)
- 2 保育所を取り巻く環境
- 3 ケガの発生状況の分析
- 4 8つの指標に基づいた取組
- 5 成果・課題と今後に向けて

2

# 1 概要（職員と園児数）



昭和55年（1980年）設立

創立39年目

現在 園児数30人

1歳児－3人 2歳児－ 6人

3歳児－3人 4歳児－10人 5歳児－8人

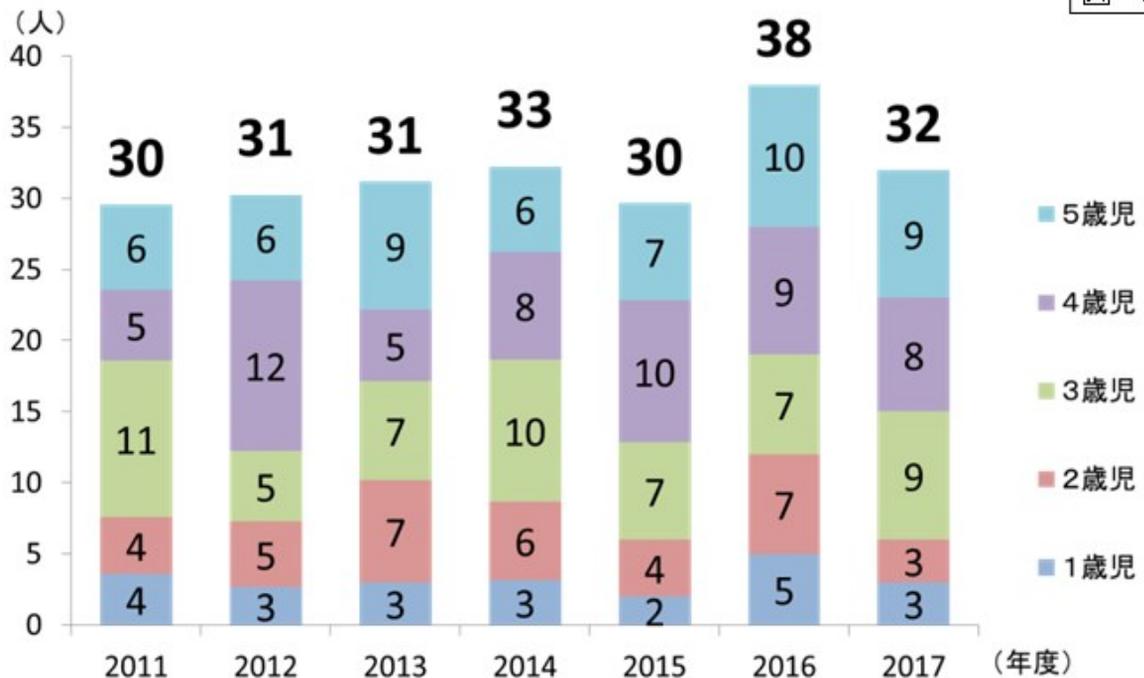
職員21人

【2018.4月 現在】

3

保津保育所園児の推移（2011年度～2017年度）

図-1



## 2 保育所を取り巻く環境

### 牛松山登山



### 散歩



### 保津保育所



### 保津川下り



5



6

谷山池



材店

保津保育所



傾斜道が多く、道幅が狭い

門を出たら  
すぐ車道

角ノ北裏

第七区公

笠ノ森



サルやヘビが目撃される

7

### 3 ケガの発生状況の分析

#### 亀岡市立保育所小規模グループ 共通課題

場 所		課 題
園 内	園舎内	保育室での「当たる・衝突する」によるケガが多い。 (間接機転:「人との接触」「物との接触」) ※申請書P102図-5・6・7
	園舎外	運動場での①「転倒」、②「当たる・衝突する」によるケガが多い。 (①間接機転:「踏く・ひっかかる」「バランスを崩す」「滑る」) (②間接機転:物との接触」「人との接触」) ※申請書P102図-5、P103図-8・9・10

8

# 4 8つの指標に基づいた取組

## 指標1

## 地域の体制



9

## 指標1

## 地域との連携

亀岡警察署での交通教室



ひまわり絆のプロジェクト



亀岡消防署と  
共同の避難訓練



保津川防災訓練  
に参加



10

## 指標 1

## 地域との連携

保津消防団による、  
ため池決壊時の避難訓練



保津川下り太鼓披露



駐在員による  
登降所時の見守り



畑の先生



11

## 指標 1

## 保護者との連携

家庭でのヒヤリハット



「あぶないかも」  
親子ダンス



子育て講演会  
「子どものケガ・事故を予防しよう」



12

### 指標3

## 市立保育所の予防活動一覧(1.体づくり 2.安全教育 3.環境改善)

(数値はプログラム番号)

表-1

		園児					職員				保護者・地域				
園内	園舎内	1-1	1-8*	2-1	2-9	2-16	3-1	1-1	2-1	2-9	3-1	1-6	2-5	2-14	3-1
		1-2	1-10*	2-2	2-10	2-17*	3-2	1-2	2-2	2-10	3-5	1-7*	2-6	2-15	3-5
		1-4		2-3	2-11		3-5	1-4	2-3	2-11	3-6		2-9	2-17*	3-6
		1-5		2-4	2-12		3-6	1-5	2-4	2-14	3-7*		2-10		3-7*
		1-6													
	1-7*														
	園舎外	1-1	2-1										2-15	3-1	
		1-2	2-2										2-17*	3-2	
		1-4	2-3											3-3	
		1-5	2-4											3-4	
1-6		2-5											3-5		
家庭	1-7*	2-6											3-6		
	1-10*	2-7											3-8*		
	1-6	2-6										2-11			
	2-9											2-13			
	2-1											2-15			
園外	地域							2-17*				2-10	2-17*		
		1-3	2-1	2-11	3-1			1-3	2-1	2-10	3-1	1-3	2-5	2-11	3-1
		2-5	2-12	3-2				1-9*	2-5	2-11	3-2	1-6	2-7	2-12	3-2
		2-7	2-14	3-3					2-7	2-12	3-3		2-8	2-13	3-3
		2-8	2-15	3-4					2-8	2-14	3-4		2-9	2-14	3-4
		2-9	2-17*	3-6					2-9	2-17*	3-6		2-10	2-15	3-6
		2-10		3-8*							3-8*			2-17*	3-8*

別添資料を  
ご覧ください

### 指標4

## 課題1: 玄関から門周辺は坂道のため、転倒する危険と門前の道路に飛び出す危険がある

<b>設定理由</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玄関と門の間はコンクリートの坂道のため転倒する危険がありケガが重症化しやすい</li> <li>・門を出るとすぐ車道で、飛び出しや乗降車時の事故のリスクが大きい(図-2・3)</li> <li>・園児が門扉を開けて車道に飛び出す事例があった</li> </ul>
<b>対策内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・降所時の約束を安全集会で園児に知らせている</li> <li>・保護者に門扉の安全バーを閉めてもらうよう啓発している</li> <li>・登降所時間帯は複数の職員が門に立ち、見守りと安全確認を行っている</li> </ul>
<b>成果</b>	坂道での転倒による重傷なケガや飛び出しによる事故は起こっていない(図-5)

## 指標4



車道に飛び出す危険がある



転倒する危険がある

15

## 指標4

## 保護者実態調査

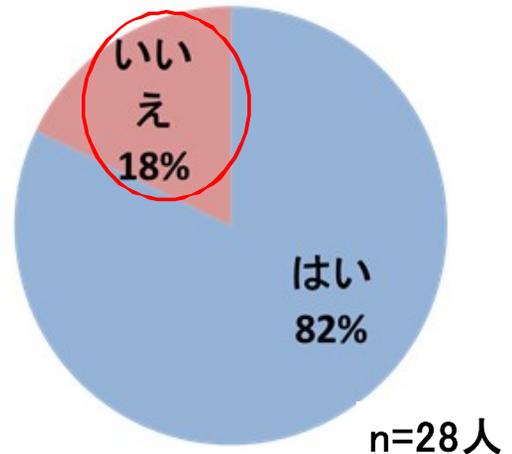
送迎時に危険と感じた時

図-2



玄関スロープでの約束事を知っていますか

図-3



出典：保津保育所データ（2017.6）

16

## 指標4

## 登降所の様子



## 親子啓発活動



## 交通教室・安全集会の実施

## 地域の方の見守り



地域の方の見守り 年間 12回



## 活動実績

2014年度	6回
2015年度	15回
2016年度	13回
2017年度	33回

17

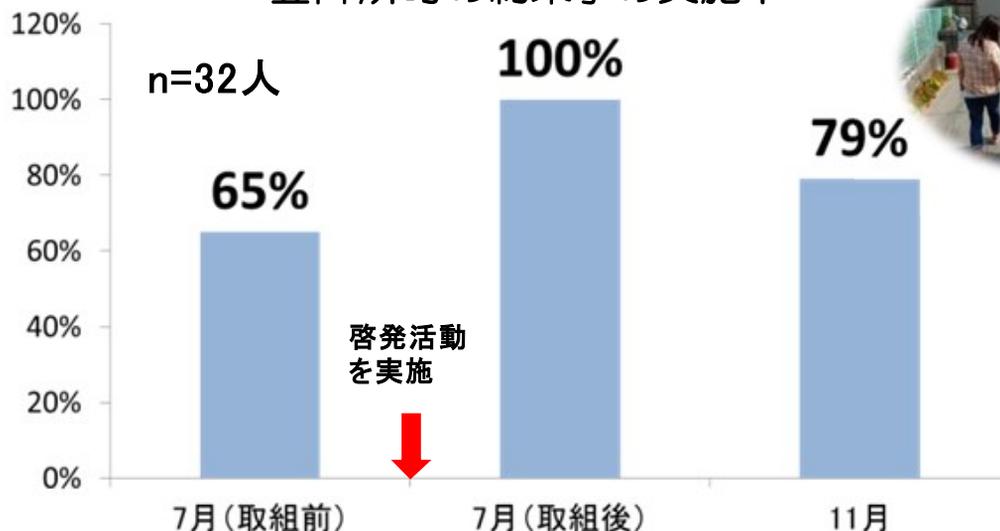
## 指標4

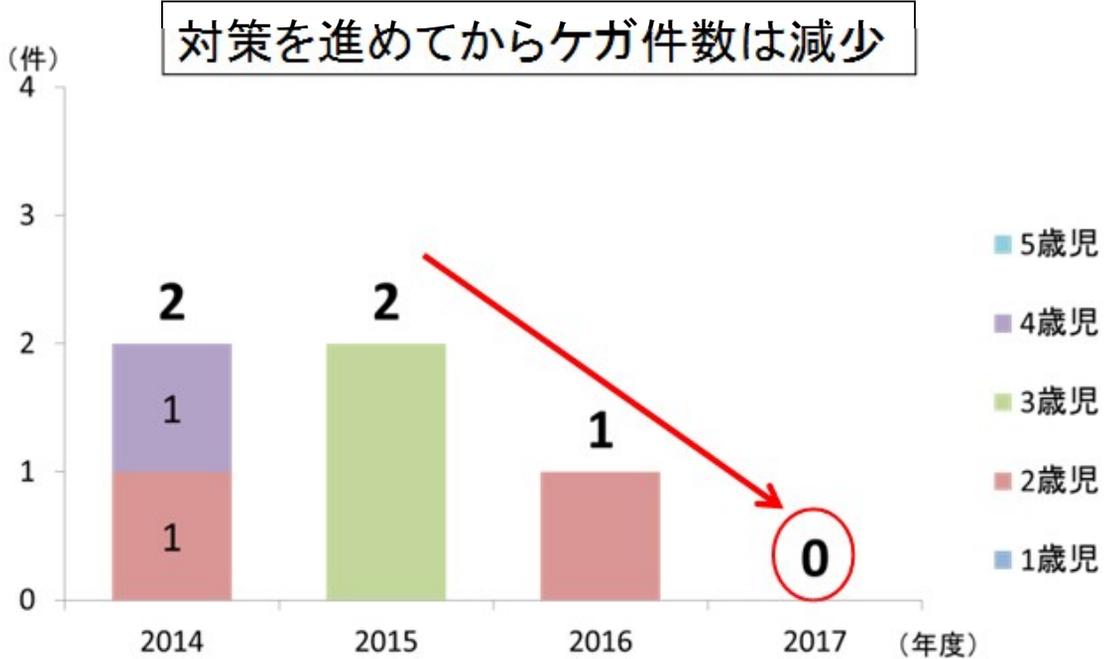
## 園児の行動観察の結果

図-4

啓発活動を行うと一時的に効果があるが、時間の経過とともに意識の低下がみられる

## 登降所時の約束事の実施率





出典：保津保育所データ（2014.4～2018.3） 19

課題2:チャイルドシートが、適切に着用できていない  
状況がある **NEW**

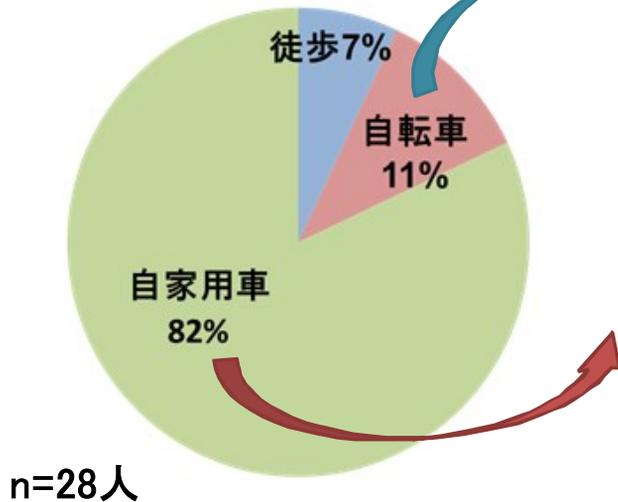
設定理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイルドシートを適切に着用できていないと、交通事故時に園児のケガにつながる可能性がある(図-7)</li> </ul>
対策内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会子育て講演会でチャイルドシートの適切な着用の大切さについて啓発する</li> <li>・交通教室でチャイルドシートの装着の重要性を園児に伝える</li> <li>・園児が保護者に向けて、チラシを作って啓発を呼びかける</li> <li>・地元の駐在員による登降所時の安全の見守りを実施する</li> </ul>
現在の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の安全意識が高まり、適切に着用される家庭が増えた(図-8)</li> </ul>

## 指標4

登降所に自家用車を利用する割合が8割を占める

図-6

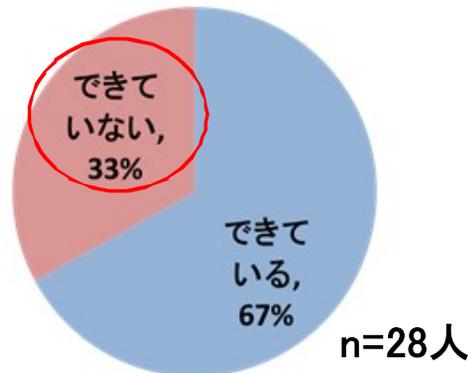
登降所の交通手段



子どもの自転車乗車時ヘルメット着用率は100%!

図-7

チャイルドシートの適正な着用



出典：保津保育所データ（2017.7）

## 指標4

チャイルドシートの適切な着用を伝えるチラシを作って呼びかける

6月保育参観

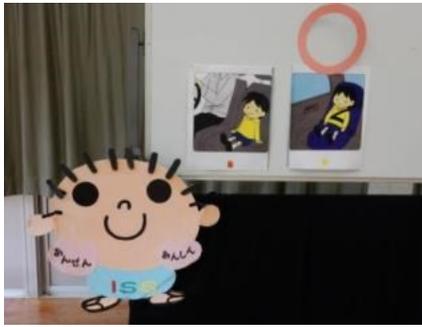


9月祖父母参観



## 指標4

## 安全集会○×クイズ



## 活動実績

2014年度 6回  
2015年度 15回  
2016年度 13回  
2017年度 33回

## 保護者への啓発活動



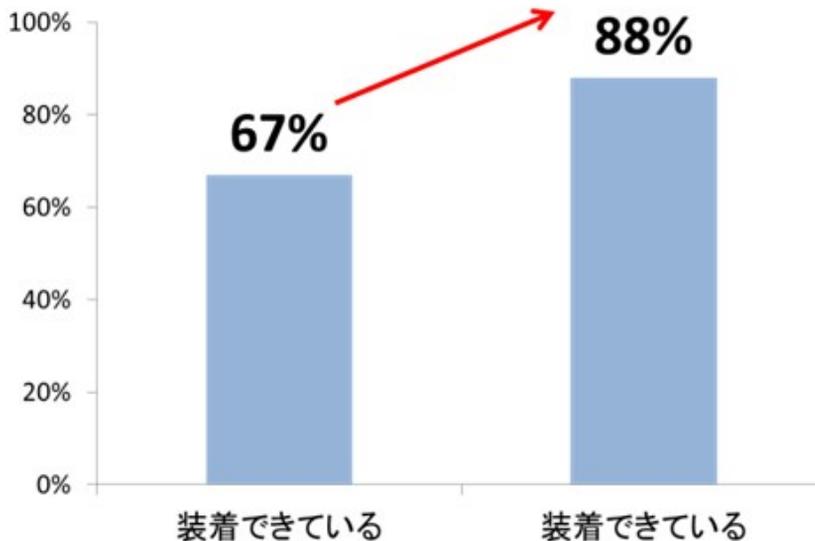
23

## 指標4

## チャイルドシートの適切な着用の啓発結果

適切に着用している人が増加している

図-8



n=28人

出典：保津保育所データ(2017.9)

24

## 指標5

- ①保育室での当たる・衝突によるケガが多い  
 ②運動場での転倒、当たる・衝突によるケガが多い  
 発生要因 ・人や物に接触しケガにつながることが多い  
 ・躓く、ひっかかる、バランスを崩す、滑るなどで起こっていることが多い

予防対象	方向性	対策
①保育室での 当たる、衝突によるケガ	バランス力の向上 空間認知力を養う	(1) 運動あそび プログラム
②運動場での転倒・ 当たる、衝突によるケガ	安全意識の向上 環境改善	(2) 安全教育 プログラム

25

## 指標5

### 運動遊びプログラム

予防対象	・保育室での当たる・衝突によるケガ ・運動場での転倒、当たる・衝突によるケガ
方向性	バランス力の向上と空間認知力を養う
対象者	園児・職員
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リズム遊び・体操               <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な運動遊びを通して、体幹や体のバランス力を育む</li> <li>・人や物との距離感を感じる動きを遊びの中で取り入れる</li> </ul> </li> <li>●職員研修               <ul style="list-style-type: none"> <li>・リズム遊び研修を実施、運動遊びについて検討会議を実施する</li> </ul> </li> </ul>
改善点	・バランス力や空間認知力を高めるため、職員の研修や検討会議を実施し、運動遊びの充実につなげた

26

朝の体操



リズム遊び



様々な運動遊び



活動実績

2014年度	407回
2015年度	438回
2016年度	402回
2017年度	546回

27

距離感を養う取組



職員研修

活動実績

2014年度	3回	2016年度	3回
2015年度	3回	2017年度	5回



リズム研修会



園内 | SS検討会議

28

安全教育プログラム

予防対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育室での当たる・衝突によるケガ</li> <li>・運動場での転倒、当たる・衝突によるケガ</li> </ul>
方向性	安全意識の向上と環境改善
対象者	全園児、職員
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●あんづキッズの活動</li> <li>・ケガにつながるような場所や行動を5歳児が考え、職員と一緒に環境を改善し、みんなに呼びかける</li> <li>●安全集会の実施</li> <li>・園児の日常生活に関わった事象を取り上げ、安全について考える</li> <li>●環境改善</li> <li>・園児の生活の動線に合わせて環境を見直す</li> </ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考え判断する力を養うために、年齢に応じた指導を行う</li> <li>・園児が考えて行動する主体的な安全教育を繰り返していく</li> </ul>

2014年度	6回
2015年度	15回
2016年度	13回
2017年度	33回

活動実績

環境改善



玄関掃除

啓発活動



園庭整備



**指標5**

**安全集会**

ISS集会

遊具の使い方について



**活動実績**

2014年度	6回
2015年度	15回
2016年度	13回
2017年度	33回

**指標5**

**環境改善**

改善後

空き保育室

改善前



乳児の保育室

改善前



改善後



改善前

廊下



改善後



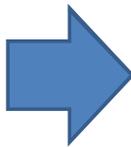
## 指標5

## 環境改善

改善前

運動場への出入口

改善後



## 活動実績改善箇所

空き保育室・乳児保育室・廊下  
砂場・看板・運動場出入口

33

## 指標7

## 運動遊びプログラム

短期  
中期的指標

【指標】

運動遊び延べ回数(図-9)

【測定方法】

運動遊び活動報告書

長期的  
指標

【指標】

①運動場の「転倒」「当たる・衝突する」による  
ケガ件数

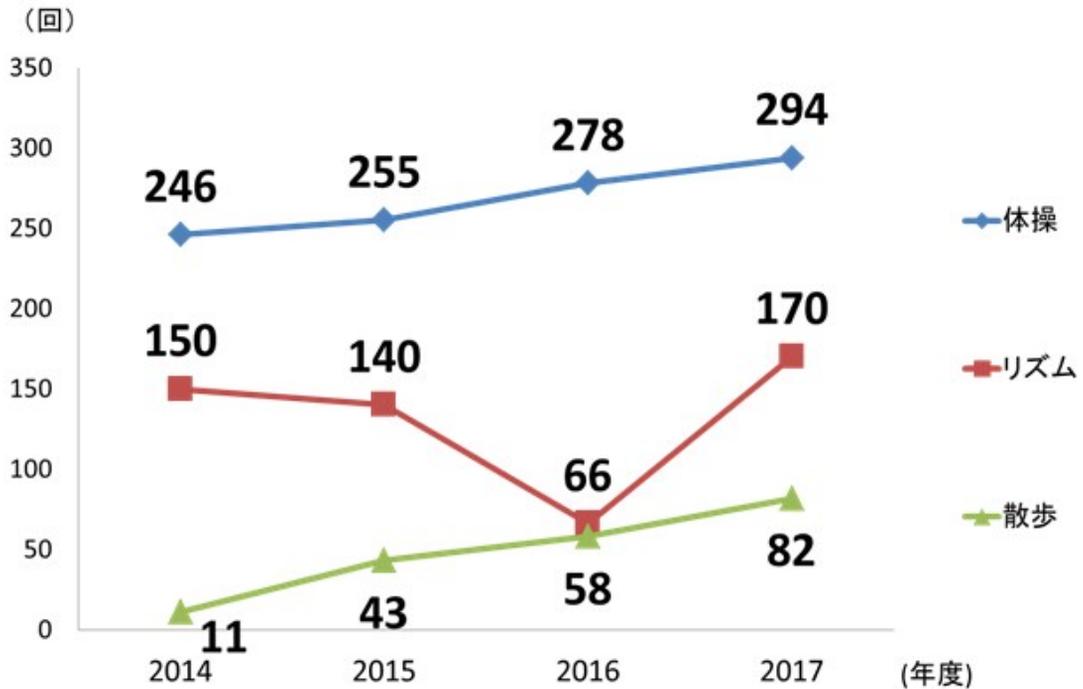
②保育室の「当たる・衝突する」によるケガ件数

【測定方法】

小規模園外傷グループ4園統合データ

※申請書P104図-11・12・13)

34



出典：保津保育所データ（2014.4～2017.12）

## 指標7

### 安全教育プログラム

短期  
中期的指標

#### 【指標】

- ・環境改善箇所の数(図-10)
- ・安全集会の回数(図-11)

#### 【測定方法】

- ・環境改善実施報告
- ・安全集会の実施状況

長期的指標

#### 【指標】

- ①運動場の「転倒」「当たる・衝突する」によるケガ件数
- ②保育室の「当たる・衝突する」によるケガ件数

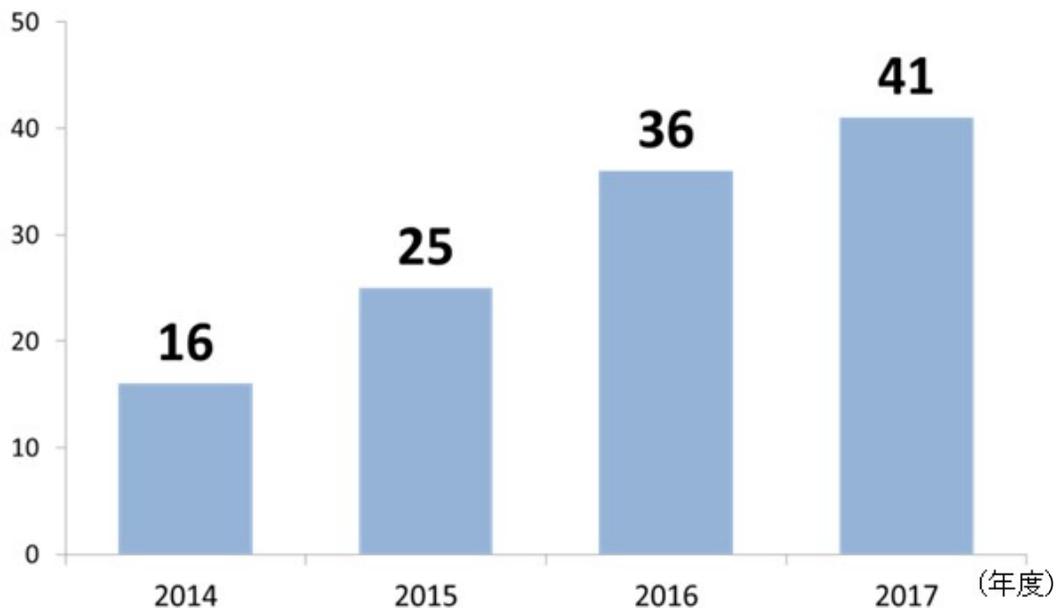
#### 【測定方法】

- 小規模園グループ4園統合データ  
※申請書P104図-11・12・13)

## 環境改善箇所の累積数の推移

図-10

(箇所数)



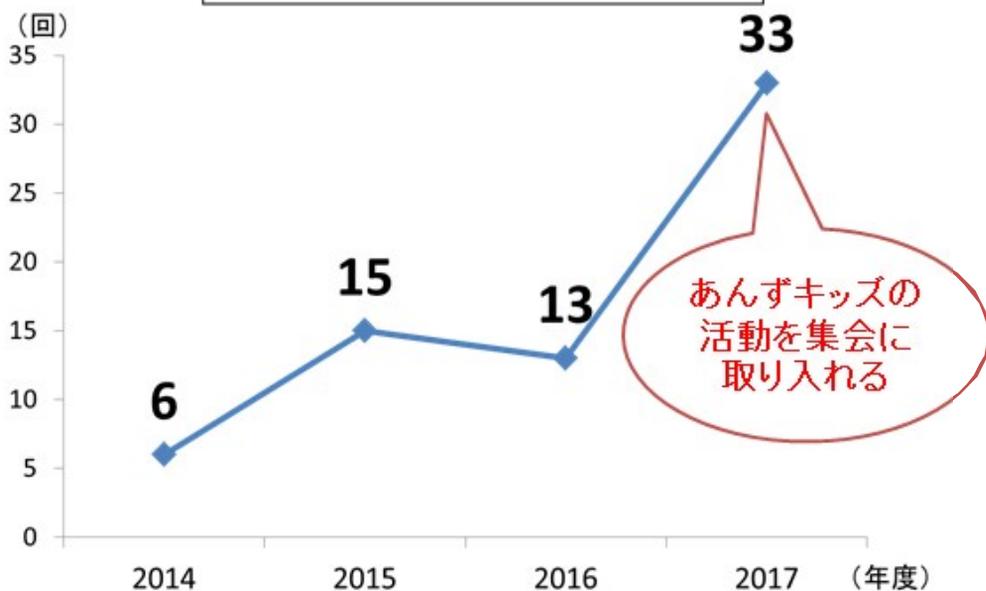
出典：保津保育所データ（2014～2017年度）

37

## 安全集会の回数

図-11

安全集会の取組を強化



出典：保津保育所データ（2014～2017年度）

38

## 6 成果・課題と今後に向けて

### 成果

- 園児が場や状況に応じて、安全を意識した行動をすることが増えている
- 園児のISS活動“あんづキッズ”の活動が定着してきた
- 保護者会主催によるISS活動が継承され、活動内容も毎年工夫されている

39

### 課題

- 人や物との距離感が取れずにケガをする
- 園児への安全教育を進めているが、持続した安全意識につながらない
- 職員の安全意識に差があり、また安全を意識しすぎるため園児の行動を制約してしまうことがある

40

## 今後に向けて

- 園児へ具体的、継続的な指導を繰り返しながら安全教育を進める
- 職員の安全意識の向上をめざす
- 更なる保護者・地域との連携した取り組みを進める

41

本日はありがとうございました!



亀岡市立保津保育所

42